

訓練の種類について

訓練の具体例

①立退き避難訓練

②屋内安全確保訓練

※洪水・雨水出水・高潮・土砂のみ

③図上訓練

④情報収集・情報伝達訓練

⑤避難経路等の確認訓練

⑥装備品や持ち出し品の準備訓練

避難訓練の種類①

【立ち退き避難, 屋内安全確保】

- 利用者を避難先に移動させる訓練として、**立退き避難訓練**と**屋内安全確保訓練**がある。
- 立退き避難訓練は、施設外の避難先に利用者を移動させる訓練
- 屋内安全確保訓練は、施設の上階などに利用者を移動させる訓練
- 訓練は、避難の想定に応じて、**避難支援協力者の参加も得て行う**

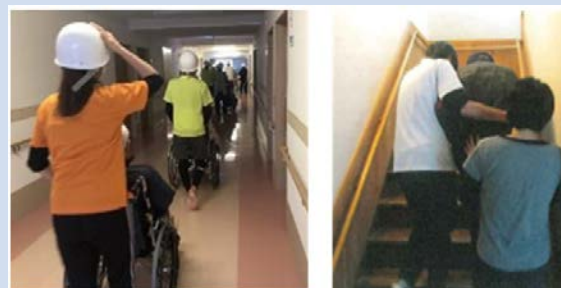
立退き避難訓練

- ・施設内移動 ⇒ 車両への移動、徒歩⇒
避難先(利用者の支援)



屋内安全確保訓練

- ・施設上階への移動(階段・エレベーター)⇒
上階での利用者の支援



避難訓練の種類②

【図上訓練, 情報収集・情報伝達訓練, 避難経路等の確認訓練】

- 図上訓練は、避難先までの立退き避難訓練や屋内安全確保訓練のシミュレーションを行う訓練(情報収集・情報伝達訓練を合わせて行う場合あり)
- 情報収集・情報伝達訓練は、避難に必要な防災気象情報や避難情報を収集し、その情報を職員や避難支援協力者等に伝達する訓練
- 避難経路等の確認訓練は、現地を実際に見て、避難先や避難経路の安全性等について確認する訓練

図上訓練

- ・地図等を活用したイメージ訓練



情報収集・情報伝達訓練

- ・日頃からの気象情報等の確認
- ・施設内での情報伝達訓練



避難経路等の確認訓練

- ・避難先までの移動時間の確認
- ・避難経路の安全性の確認

